





ま
じ
め。
う
つ
く
し
さ
に、

三上工作所の仕事は、うつくしい。

それは、家具づくりをする上で細かいところまで職人たちの技術を駆使して仕上げていることはもちろん、家具をつくる前後にもとことん向き合っているからです。

家具をつくる前に、どのような家具がふさわしいのか、お客様のご要望にお応えできるよう、会話を重ね、提案させていただきます。

また、家具をつくった後に、空間含めてうつくしく見えるよう最後の設置までこだわります。

つくることだけではなく、提案から設置まで、工程に関わる全ての三上工作所のメンバーがまじめに向き合うことで、さまざまな方から評価されている「うつくしさ」は生まれています。

三上工作所の強み

OUR STRENGTHS



一人の担当者が納品まで伴走

単純にヒアリングするだけではなく、お客様に寄り添いながら、求められることを越えていき、最高品質の家具をご提案しています。一人の担当者がお客様と職人の間に入り、目線を合わせながら家具を設置するまでを伴走することが、三上工作所の付加価値です。



第三者から評価される職人たち

職人の評価は、全国技能グランプリの受賞はもちろん、同業者から認められることも大きな要素です。第三者から認められる三上工作所の職人の特徴は、高い技術力だけではなく、図面をそのまま再現するのではなく、家具の強度や使うシーンを想定した上で、よりよい家具に仕上げ提案できることが強みです。



技術と品質の基準を設定

高品質な家具を仕上げるには、一つひとつの工程を全て高い基準でクリアする必要があります。三上工作所では求められる、またそれ以上のクオリティを発揮するための基準を設定。それが、「MIKAMI STANDARD」です。三上工作所の職人たちは日々当たり前に、高い水準に定められた技術を活かして家具づくりを行っています。

技術と品質の基準

MIKAMI STANDARD

船舶家具由来であり、過去には海外の要人の家具も手がけた三上工作所の技術力。

高品質な家具をつくるためには、一つひとつの工程を全て高い基準で満たす必要があります。三上工作所の職人たちが日々当たり前に行っている、ハイクラスな基準が「MIKAMI STANDARD」です。



木取り

CUTTING

木材の強度とうつくしさを見抜く。

高品質な家具づくりは、木材選びからはじまります。「木取り工(きどりこう)」と呼ばれる専門の職人が、家具の耐久性を決める強度と適切なコストを両立するために、無駄なく、かつどこから見ても木目の通った位置取りを行います。木取り工には、強度とうつくしさを見抜く選考眼が必要です。



組み方

JOINERY

継ぎ目が見えない工夫を施す。

壁面家具や大型家具などは、通常、制作上や搬入先の状況によって、いくつかのパーツに分けて制作するので継ぎ目が見えてしまいます。しかし三上工作所の家具は、一体成形のうつくしさを実現するため「組み方」にこだわっているのです。例えば、2枚の板を合わせたときに1枚の板のように見えるよう現場で加工したり、さまざまな工夫を施しています。もちろん、長く使い続けるための強度も忘れていません。



細部

DETAILS

無駄な重なりや影を生まない。

家具は、あらゆる板や面状の部材が重なり合って構成されています。垂直や水平方向に重なり合った時に1mmにも満たない無駄な重なりや影が生まれてしまい、うつくしさに影響を与えかねません。「神は細部に宿る」という言葉の通り、木口と呼ばれる板の端部や細部の仕上げにこだわるのが、三上工作所の「細部」です。



芯材

CORE MATERIALS

何十年も存在できる強度を生む。

三上工作所の家具は重いと言われることもあります。それは、家具の構造上見えない所まで妥協を許さないからです。構造体は板の中に隠れ、完成すると見えません。その構造体をしっかりと組み上げる時に船舶家具をつくっていた時の「芯材」を駆使します。揺れる船の上でも強度を保ち続ける構造を実現するので、何十年も変わらず空間に存在し続けることが可能です。



プレス加工

PRESS PROCESSING

木の性格を知る。

木材は自然のものなので、木材が呼吸し、環境が変わると伸び縮みます。垂直・水平を保ちつづけた家具を設置後、時間が経過し扉が開きにくくなったり、棚板が浮いてしまったりといったトラブルを生み出すことも。だからこそ、板材を制作する際に必要な材料・接着剤・プレス法などを試行錯誤し、できる限り長い時間堅牢度を保てる家具をつくっています。



留め方

FASTENING

見えない部分の、未来を見据える。

部材を留め合わせると言ってもさまざまな方法が存在します。三上工作所の家具は耐久性を最大限考慮しホゾ組みをしたり、ビスを使用するといった作業を行います。留める部材に対して3倍の長さのビスを使用するなど、「留め方」にこだわる独自の基準を設け、隠れて見えなくなる部分を考えるからこそ、何十年先も使っていただくことが可能です。



貼り方

PASTING

うつくしさに差をつける。

1枚の板は上下・左右・前後の計6面で構成されています。その板の特徴づける木目をどの面から貼り付けるかによって、うつくしさに差が生まれるのです。三上工作所がこだわる「貼り方」は人の視線を計算し、どの面から貼ると一番うつくしく仕上がるのかを計算し尽されています。



面取り

CHAMFERING

視線の方向性を計算し、75度に削る。

仕上がった板の角をよく見ると、「面取り」と呼ばれる角削り加工を施しています。一般的には角に対して45度が多いのですが、三上工作所の家具は視線の方向性を計算し、角を75度に面取りしています。75°は、極限まで角をシャープに美しく見せるため。削る角度1つでうつくしさも変わります。



曲面

CURVED SURFACES

船舶由来の職人技でつくり上げる。

曲面の制作は難しいのですが、現在のコンピューター工作機械を活用すれば制作は可能です。しかし、数字では表せない“やさしさのある曲面”は平面状での計算だけではできません。職人の手によって実物模型を試行錯誤して作り上げ、微妙な曲面を手感覚でつくり上げます。このような仕事は代々受け継がれ、船舶家具をつくってきたルーツを持つ三上工作所だからこそできる技術です。

三上工作所の実績

WORKS

細部へのこだわり 「MIKAMI STANDARD」が 隅々まで反映された什器

三井住友銀行の前身である神戸銀行の時代より継続して内装 / 什器のご依頼をいただいております。品質や納期の面だけでなく、自社で工場を持っていることによるメンテナンスのスピード感を評価していただき、今でもお取引させていただいております。



陳列と収納のしやすさをこだわり抜く

コムネット株式会社の陳列ケースです。空間に合わせて2台設置する上で家具同士のわずかな隙間が目立たないように工夫しております。また、下部の収納部分は「重いものを出し入れする」というニーズを汲み取り、出し入れを行いやすいようにキャスター式にしております。

室内に調和する色目とデザイン

個人宅のお客様の家具の制作をしました。既存のカウンター下の空間を利用し、天板と側板の間に収めました。ガラス内部を大胆に見せるような構造にして、オブジェを美しく見せるアイデアを提案しました。

高品質を裏付ける 船舶家具づくり

GROUNDS FOR HIGH TECHNOLOGY

三上工作所が高品質な家具を手掛けられるのは、かつて船舶家具をつくっていた歴史があるからです。船の上という不安定な環境で使用するため堅牢性はもちろん、船舶家具ならではの曲面を生み出す技術など、現在の三上工作所のうつくしさを裏付ける技術を習得し、承継続けてきました。



株式会社三上工作所

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7丁目2-3
TEL : 営業部 | 078-304-4808 工作部 | 078-304-4801
MAIL : info@mikami-kagu.co.jp

創業	1942年1月
事業内容	オーダー家具制作・販売 / 店舗構装 / 室内装飾 / 設計施工
許可・登録	特定建設業許可 兵庫県知事許可 建築工事業・大工工事業・内装仕上工事業 ISO 9001 / 神戸環境マネジメントシステム KEMS1
工場設備	NC・パネルソー・軸傾斜横切盤・フラッシュプレス・ルーター・角のみ機 縁貼機・リップソー・手押し鉋盤・自動一面鉋盤・超仕上鉋盤 他
社員 有資格者	27名 営業部 一級施工管理技士 / 二級建築士 / インテリアコーディネーター 福祉住環境コーディネーター 工作部 一級家具技能士
主要取引銀行	三井住友銀行 / みなと銀行 / 池田泉州銀行

